

皆さんと学び考えるワークショップ「学びやすい学校の環境づくり」【第6回-(2)】

参加者意見(概要)

1. 日時・場所

平成 26 年 8 月 7 日(木) 午後 1 時から午後 3 時 尼崎市 教育総合センター研修室2

2. 参加者

中学生引率先生 19名

(市側)政策課長、学校教育課長ほか

3. 参加者意見概要

別紙1~2

グループ内で意見交換した際、各参加者がメモに書いた意見を分類、集約しました。

4. 意見交換項目と主な意見(分類別)

問1 空調設備や中学校給食を導入することで、子どもや保護者にとって、どういうメリットがあると思いますか。(全体意見共有前)

	空調	中学校給食
子どもにとって	・集中力 UP・学力向上 ・落ち着き、心の安定 ・体調管理(熱中症等) など	・栄養バランス ・同じものを食べる安心感(弁当を持参できない子ども) など
保護者にとって	・弁当が傷みにくい ・健康面での心配が減る など	・保護者の負担軽減 ・栄養面安心 など
教師にとって	・授業に集中し、内容も一層工夫ができる ・ゆとりを持った生徒指導が可能に ・命を預かる安心感 など	・食育として取り組める ・現金のトラブルが無くなる ・食べない生徒の心配が減る など
課題	・子どもの体力低下 ・電気代等の経費(他予算へのしわ寄せ) ・温度調節を子どもが勝手にしてしまう など	・給食指導の負担増 ・アレルギーへの対応 ・親の給食費負担 ・給食費未納への対策・対応 など

問2-(1)今日の議題(皆さんの意見)を踏まえ、①空調整備、②中学校給食について、改めてこう思う・その理由や課題への解決策は(全体意見共有後)

	分類
空調について	集中力 UP・学力向上、体調管理(熱中症・アレルギー等)、学校間格差の解消 など
中学校給食について	愛情弁当も大切、中学校弁当事業、その他(アレルギー対策・配膳時間) など

問2-(2) 子どもの生きる力や学力向上のために、ソフト／ハード両面でどういう取組が求められると思いますか？

	分類
ソフト面	先生の人数・配置、教師の仕事の見直し、教師の質・意識の向上、授業・教材 など
ハード面	情報系教材の導入、教室、空調、老朽化対策、 など

(詳細は別紙1~2参照)

1. 空調整備・中学校給食に関する各グループの意見(全体意見の共有前)

【問1】 空調設備や中学校給食を導入することで、子どもや保護者にとって、どういうメリットがあるのか。(こういう「困った」ことが解消できるという考えも含めて)

	子どもにとって	数	保護者にとって	数	教師にとって	数	課題	数
空調	① 集中力アップ・学力向上	15	① 弁当が傷みにくい	3	① 授業に集中し、内容も一層工夫ができる	9	① 子どもの体力の低下(体温調節、乾燥へ弱い子への対応)	4
	② 人や物に当たらない、心のゆとり	6	② 健康面での心配が減る	2	② ゆとりを持った生徒指導が可能に	7	② 電気代等の経費がかかる(他予算へのしわ寄せ懸念)	4
	③ 熱中症対策(体調管理)	5	③ 子どもの学力向上	2	③ 命を預かる安心感	1	③ 温度調節を生徒が勝手にしてしまう(我慢できない子どもになる)	2
	④ 子どもが快適に過ごせる	3	④ 家庭での会話が増える	1	④ 熱中症での保健室来室減少	1	④ 故障・破損などの管理面	2
	⑤ 学校に登校しやすくなる	2			⑤ 夏休みの補習ができる	1	⑤ 寒いと感じる生徒への対応	1
	⑥ 風紀の乱れが無くなる	2						
	⑦ 学校間格差の解消	1						
	⑧ 夏休みの減少	1						
中学校給食	① 栄養バランスの取れた食事が摂れる	14	① 保護者の負担が軽減される	13	① 食育として取り組むことができる	2	① 給食指導の負担増	10
	② 同じものを食べる安心感(弁当を持参できない子ども)	4	② 栄養面で安心	3	② 現金のトラブルが無くなる	2	② アレルギーへの対応	7
	③ 弁当忘れの心配が減る	1	③ 母子・父子家庭共働きの時間的余裕を生む	1	③ 食べない人の心配が減る	1	③ 親の給食費の負担	6
	④ 一日の中で一食は確保できる	1			④ 教員も自分の給食を心配しなくてもよい	1	④ 給食費未納への対策・対応	5
			<ul style="list-style-type: none"> ・給食準備による授業終了時刻への影響(4時間目に体育や特別教室など) ・衛生管理 ・食中毒 ・異物混入 ・配膳システム構築までには時間が必要 ・家庭とのコミュニケーションが減少 ・親が何もしなくなる ・メニューが選べない ・お金(昼食代)を用意してもらえない場合対応できない ・持参弁当と給食の選択性では食育はできない 			1	⑤ 配膳時間の確保・手間	4
						1	⑥ 給食調理場所(学校内敷地は困難)	3
							⑦ 昼休み時間短く、部活時間への影響	2
							⑦ 食べる量など個人差が大きい	2
						[続き]課題・意見(各1件)		

※意見数は延べ数

2. 空調整備・中学校給食・生きる力や学力向上に関する参加者の意見（全体意見の意見共有後）

【問2-(1)】	今日の議題(皆さんの意見)を踏まえて、改めて私はこう思う／その理由は？ (課題や解決策も含め) (1)空調整備と中学校給食
----------	---

空調整備と中学校給食の導入順については、参加19名中、全員が「空調整備が先」との意見でした。

種別	理由の分類	こう思う・その理由・課題解決策の概要	集計
空調整備について	集中力up・学力向上	<p>テストの際、汗が止まらず解答用紙が波打ったり破れたりする現状がある。</p> <p>学習に集中しやすい環境を整えば学力向上にも繋がる。</p> <p>学習に集中できない環境にある教室のみ空調を入れる。(学びの平等)これを第一に行うべき。</p> <p>学力向上に取り組んでいるが、教える側も正直この環境では厳しい。生徒に対しても許容範囲(態度、風紀面)が広がってしまう。学習に集中できない。</p> <p>教師がすべき第一は授業で、授業を正常に行える環境を作るのが教師の務め。空調が無いことが精神状態を不健全にさせ、授業をする上で支障がある。</p> <p>教師は生徒の学力向上に向けて日々時間をかけて工夫しているが、暑さの集中力低下で生徒たちに伝わりにくいのであれば、努力のしがない。</p> <p>空調があれば、生徒・教師とも「暑くて集中できない」などの言い訳ができなくなる上で、学力向上に向けた集中力を高めていけると感じる。</p> <p>空調があれば6～9月の授業の集中力が上がる。新しくなる入試の制度の中で、夏場の学力向上策は大切だ。</p> <p>空調が運転している時としていない時では生徒の反応が全く違う。子どもが学習に取り組みやすいし、先生側も授業がしやすい。</p> <p>空調は、学力向上のためにも、授業をよりよくするためにも、全生徒、職員に対して必要だ。</p> <p>空調は予算面、維持、管理面などで大変な部分もあるが、それ以上に教育上のメリットの方が大きいと思う。</p> <p>子ども→学習効率のUP 保護者→弁当が傷まない 教師→授業に集中できる</p> <p>空調を整えることで学習に対する意欲も生徒、教師とも上がり学力向上にも結びつく。</p> <p>空調を付ければ、授業での集中力も上がるし、教師の授業の質も上がると思う。</p> <p>授業などでメリハリがつく。</p> <p>授業の環境を整えることが大切。今のままでは、生徒も教師も集中できていない。</p> <p>授業を受ける側もする側も夏の高い気温の中で授業をするのは大変苦痛である。学力向上のためにも設置するべき。</p> <p>心も体も健康であるからこそ学力アップにもつながると思う。</p> <p>他市との競争に勝てていくのではないか。</p>	17
	体調管理 (熱中症・アレルギー等)	<p>生徒の体調管理は、こまめな空調の 入/切の調節で問題はない。</p> <p>全員を満足させる温度設定は難しく体調を崩す場合がある。 →教室ごとに調節できるようにする。</p> <p>熱中症などの心配が減る。</p> <p>望ましいが急ぐものではないのでは。子ども達の体温調節機能をきちんとつけることも大切で、子供のうちから空調のあるところで一日の大部分を過ごすのは良くないと思う。ただ、気温が40℃を超える場合は必要かと思う。</p> <p>空調は設置されているが、それでも授業中の体調不良者が出る。</p>	5

学校間格差	<p>学校によって空調がある所とない所があるのはおかしい。 学校格差があるのも納得できない。環境差は学力差につながっている。 空調が付いている学校もあるので、環境を平等にするべき。 空調の有無と学力の差に関係はないのでしょうか?空調がない所で1日中、集中力がもつかと言われれば、生徒・教師とも厳しいものがある。 空調を整備した時のメリットが多くある。(設置校と未設置校の学力調査結果の差があるのではないか)</p>	1	
その他	<p>コストを抑えるために、期間や設定温度を決める等で補えばよい。 暑い寒い感じ方は人によって違うので、室温設定を29℃～30℃ぐらいに設定することが望ましい。 体温調整や体力の向上は、上着の調整や少し長めの休み時間の確保で調整していけばいいのではないか。 体温調節の課題もあるが、教室ごとに温度調整を行ったり、ひざ掛けを持込可能にしたら良い。 課題に関しては温度調節を生徒が勝手にできてしまう学校もある。指導を徹底しておけば、その心配もなくなる。 空調があれば、生徒指導面で問題が減る。生徒、教師ともに安定した生活ができる。 空調があれば服装についての指導もしやくすなる。(スホンのすそ上げ、シャツのボタンをあけたり、袖をまくるなど) 生徒指導について、教師も生徒も厚くて行いしうまく指導が運ばない我々は子どもの命を親から預かり学校教育を行っている。 空調は恩恵を受ける人が多い。 子どもや教師など学校で過ごす時間の長い人ほど、空調の必要性を感じる。 公共機関で空調が無い施設はあるのか、教室内が30℃を超える環境で一日過ごすのはあまりにも非人間的だ。(卵を産ませるため鶏小屋でもエアコンを入れている) 新校舎のためデザイン重視で空気の通りが悪い構造。お金をかけるところを考えてほしかった。</p>	13	
空調整備について 集計		40	
中学校給食について	愛情弁当も大切	<p>学校教育を円滑に行うのが教師、お弁当などで栄養管理を行うのが保護者と役割を分担することで、両方の愛情をうけて子どもは大きく 尼崎は逆に「愛情弁当である」ことをアピールし、人情の街・愛情の街をキャッチフレーズにしてはどうか。</p>	2
	中学校弁当事業	<p>何も食べていない一部の子には弁当事業を。全体の子のために空調整備を。 中学校弁当がある。当日に買えないがその時は購買がある。</p>	2
	その他	<p>配膳を含む時間的な部分、指導、給食費など課題が山積みすぎる。 給食は課題が山積み(給食室、給食費未納者が出てくる、親子の繋がりの軽薄化)お弁当事業でカバーできる。 給食には解決すべき課題が多すぎるため、まだまだ議論に多くの時間が必要。 給食はデメリットが多すぎる。食べる量、アレルギー、保護者とのお金の問題、衛生面確保が困難など。 給食は栄養バランスなどメリットもあるが、現状、弁当でも困っている程ではない。中学校弁当も頼んでいる生徒を見たことが無い。給食はデメリットが多すぎる。 教師の手間が増えすぎる事が問題。給食導入に伴い、生徒指導、勤務時間、昼食指導が担任1人では厳しいなど教師が大変。その問題が改善されるなら、給食の方が先だと思う。(実際に空調なくても不満も無く授業できている) 授業時間数の確保といわれている中、配膳時間や指導時間などに費やせる時間的余裕は無い。 生徒から給食が欲しいという声は上がってきていない。 昼食については子ども達が自分で作っている場合もあるので、週に数回でもそうすれば保護者の負担も減り、また本人の成長にも繋がる。 給食がなくて困る人は少なく、あったら良いと考える人は多そう。給食は子どもの手間が増える。 望ましいが急ぐものではないのでは。昼食時間の増加に伴う帰宅時刻・クラブ開始時刻が繰り下がる課題あり。</p>	11

2中学校給食について 集計			15
3その他	その他	<p>実際に給食を必要としている人と、空調を必要としている人は後者の方が多いただろう。</p> <p>不登校について、不登校生徒が少なからずいる中で学校に来させるためにどうすれば良いか、何が障害になって来られないのか考慮する中で、少しでも学校に来やすい条件を整えることが生徒のためになると考える。</p> <p>給食と比べると明らかにリスクが少なくメリットが多い。給食は不安が大きすぎる。</p> <p>家庭で何もして貰えない一部の子には給食は必要かもしれず、給食は要らない訳ではない。他都市動向から数年後には本市でもやっつけられることを考えれば、今は、全員に効果のある空調が先ではないか。</p>	4
3その他 集計			4
総計			59

※意見数は延べ数

2. 空調整備・中学校給食・生きる力や学力向上に関する参加者の意見（参加者全員の意見共有後）

【問2-(2)】	子どもの生きる力や学力向上のために、ソフト／ハード両面でどういう取組が求められるか？
----------	--

※□以外は各1件

種別	分類	ソフト面・ハード面でどういう取組が求められるか？	集計
ソフト面	教師の人数・配置	教師の仕事の量が増加し、生徒と話す時間が減少しているため増員を。〔10件〕 少人数授業のための教員の増員。(1クラスの上限も35人程度) 教科担当(授業に集中)と担任(道徳・学活・総合・生徒指導)を別々にする。そのための人員増を。 主要教科の教師が学年をまたぐのを減らしてほしい。 不登校担当を配置。 進路相談のエキスパート的な人の派遣。(学区再編による進路指導) パソコンを教えてくれる人の配置を。 お金を扱う専門員の配置を。	17
	教師の仕事の見直し	人員増加による1人当たりの負担を軽減し、生徒と関わる時間の確保を。〔2件〕 教師個々の授業時数を減らし、授業研究など様々な業務にあてる時間を。	3
	教師の質・意識の向上	教員の年齢が若くなりすぎたことで、指導面の力不足を痛感。保護者対応や生徒指導などの経験がある先生方から指導やアドバイスを受けられる時間、環境をもっと増やすべきだ。(授業改善アドバイザーなど) 若手職員には学年主任がサポートするようにして、教員のチーム力をしっかりつけること。	2
	授業・教材	習熟度別授業をすべての学年で実施すればとてもよい。 成績上位層、あるいは学習に意欲的な子どもたちへの選択授業。 印刷の専門業務者の雇用。(他市のように) 英語用・単語カードがほしい。	4
	放課後・休暇中の学習	放課後学習の拡大。(チューター確保)	1
	ソフト面ほか	スクールカウンセラーの来校頻度の増を。(いつも予約で一杯) 教師を育てる仕組みができていないと感じるので、市内独自の研修制度を設置と、校長がリーダーシップをとって若手教員の育成に努めてほしい。教師同士で無関心な関係が取りざたされており、教師全体の意識改革が必要。 休憩時間の確保を。 職員間の仲を深める取組は大切。過去は学校対抗ソフトボール大会などがあったと聞く。若手職員に活躍の場を。	4
ソフト面 集計			31
ハード面	テレビ・モニター・電子黒板・タブレット	ICT教材、視聴覚教材の導入。(タブレット・電子黒板・プロジェクターなど) 〔5件〕 各クラスにテレビの設置。(動画や写真などを見せることで、学力向上に繋がる)〔2件〕 視聴覚教材を増やしてほしい。	8
	教室系	指導用や教育相談用で使える教室が少ないので教室を増やしてほしい。〔3件〕 進路指導や学習のための施設と資料の設置・整備を。 これから建替える学校の、予備教室や1教室あたりの面積増加。 教室の備品など少しずつ新しくする。 マス目の付いた黒板がほしい。	7
	空調系	空調の設置を。〔4件〕	4
	老朽化対策	トイレを綺麗に。	1
	グラウンド系	グラウンドなどが狭い。	1
	ハード系ほか	校務用パソコンの充実。(ワード・エクセルのバージョンが異なり使いにくい)〔2件〕 学校の色々な物が古くなってきているので、新しくしてほしい。 各校舎屋上に太陽光パネル設置。 職員用トイレの設置。	5
	ハード面 集計		
総計			57

※意見数は延べ数